



行財政改革の進捗と今後について

1 背景

- 本町の財政状況は、平成29年度から令和3年度までの間、実質的な決算収支で5年連続の赤字を計上したことに加え、財政の弾力性を示す経常収支比率も令和3年度決算で98.1%となり、**県内でワースト1位、全国でもワースト11位**を記録してしまうなど、このままの推移では最低限の**行政サービスの維持が困難な状況**に陥ることが予測されております。この難局を突破するには、町民の皆様とこの危機的な状況を共有することが不可欠であり、令和5年9月に「**財政非常事態宣言**」を発出し、財政健全化に向けた抜本的・集中的な取り組みのスタートの年とすることを宣言いたしました。
- 計画期間を3年間とする行財政改革推進計画を策定し、**聖域なく全ての施策の総点検**を実施する中で、適正化を図り、経常的経費の縮減に取り組んでおります。また、これにとどまらず、**縮減経費をもとに将来への投資を積極的に展開**することにより、町民の皆様とともに新たな時代に対応した持続可能な市川三郷町に向け取り組んでおります。
- 行財政改革推進計画では、本町が取り組むべき行財政改革の方向性を基本方針としてお示しするとともに、それを具体化した年次計画や進行管理については、「行財政改革推進計画アクションプラン」により、短期間で効果が現れるよう集中的な取り組みを全庁一丸となって推進しているところです。

2 令和5年度実績（主な取り組み）

※令和6年3月末時点

基本方針1 効率的・効果的な行政運営

- 課係等の再編、統合、廃止 → 商工観光課と農林課を統合し産業振興課、土木整備課とまちづくり推進課を統合し建設課としたことで、21課から19課となり、2課の削減となりました。
- 職員給与運用基準の見直し → 適正な運用へと見直しを行うべく協議を進めておりましたが、職員組合の理解が得られませんでした。

基本方針2 公共施設等のマネジメントの推進

- 歌舞伎文化資料館 → 令和6年4月から金・土・日のみ開館。団体予約について、開館日以外は事前予約に対応します。
- 大門碑林公園 → 令和6年4月から金・土・日のみ開館。団体予約について、開館日以外は事前予約に対応します。
- 大同出張所 → 令和6年3月末をもって、出張所機能を本庁舎へ統合しました。
- 地域公共交通網の抜本的見直し → 地域公共交通会議を開催し、本町の交通網の抜本的な見直しに向け、協議を始めました。

基本方針3 持続可能な財政運営

- シーリングの導入 → 令和6年度当初予算においては、各課ごとの目標額を算定し、3億1,418万円の削減効果となりました。これにより、将来に向けた積極的な投資が可能となりました。

- 公金運用方法の最適化 → 金融機関等との協議を密に行う中で、直近の資金需要予測を踏まえ、減債基金1億円の債券運用を令和6年3月より開始しました。
- ごみ処理費用の適正化 → 地区ごとのごみ袋の価格差是正の旨の方針が決定し、価格改訂に向け取り組んで参ります。
- 神明の花火における補助金の全額返金 → 第35回大会において、収入の改善を図り、補助金400万円を全額返還し、さらに黒字額430万円を町へ寄附いただきました。

基本方針4 行政サービスの質の向上

- 町議会本会議のYouTube配信 → 他市町村の取り組み状況を参考に令和6年3月議会より、配信を開始しました。
- 防災行政無線システムの更新 → 防災力向上のため、聞きやすい音声のみならずHPやメールで情報発信を行えるよう設計業務委託を行いました。

3 令和6年度実績（主な取り組み）

※令和7年3月末時点

基本方針1 効率的・効果的な行政運営

- 職員数の適正化 → 正職員と会計年度任用職員合わせて19人の削減を行いました。
- 課係等の再編、統合、廃止 → 分庁舎に配置されていた課を本庁舎に集約し、事務の効率化を図りました。



行財政改革の進捗と今後について

- 生活支援体制の構築 → フォーラムや勉強会の開催等の支援の結果、令和7年12月に「下大鳥居支えあい協議体」が発足しました。

基本方針2 公共施設等のマネジメントの推進

- 図書館 → 本館への集約を行い、令和7年4月から三珠地区は三珠児童館で、六郷地区は六郷出張所で「はことしょ」等を実施します。
- 小学校・中学校 → 小中学校適正規模・配置等検討委員会からの答申を踏まえて、町としての方向性を検討しました。
- 国民健康保険診療所 → 令和7年4月から指定管理者による運営に変更。対前年度比2,378万円の削減効果となりました。
- 三珠庁舎 → 令和7年3月末の課の再編に伴い、三珠庁舎機能を本庁舎に統合しました。
- 六郷庁舎 → 令和7年3月末の課の再編に伴い、六郷庁舎の一部機能を本庁舎に統合しました。
- 三珠総合福祉センター → 令和7年3月末に健康管理センターに機能を統合しました。貸館業務は引き続き健康管理センターで行います。
- 公共施設等の利用者負担の適正化 → 公共施設等の使用料の統一的な算定基準を作成し、令和7年4月より運用を開始しました。

基本方針3 持続可能な財政運営

- シーリングの導入 → 令和7年度当初予算においては、各課ごとの目標額を達成したことから、2億6,510万円の削減効果となりました。
- 神明の花火における補助金の全額返金 → 第36回大会において、収入の改善を図り、補助金580万円を全額返還し、さらに黒字額約463万円が町へ寄附となりました。

基本方針4 行政サービスの質の向上

- 防災行政無線システムの更新 → 令和6年度中に更新工事を実施し、令和7年4月から新たな防災行政無線の運用を開始しました。
- 簡易水道・下水道における使用料金改定 → 使用料の見直しを行い、令和7年4月から新たな料金体系を開始します。

- 「記入不要窓口」の導入 → 令和7年7月から申請者の負担軽減として、町民課の窓口において「書かない窓口」を導入する事となりました。

4 令和7年度予定（主な取り組み）

基本方針1 効率的・効果的な行政運営

- 早期退職制度の構築 → 効率的な業務体系の推進、職員の働き方の多様性に対応するため、運用を開始します。

基本方針2 公共施設等のマネジメントの推進

- つむぎの湯 → 利用者の増加に向けた取り組みを強化する中で、民間移譲による民間運営を目指します。
- ニードスポーツセンター → 上半期の効果を検証し、一般財源負担額の改善が図れない場合、令和8年3月末までに休止等を判断します。
- 小学校・中学校 → 小中学校適正規模・配置等検討委員会からの答申を踏まえて、町としての方向性を決定します。
- 地域公共交通網の抜本的見直し → 令和8年3月から、住民ニーズに沿った新たな地域公共交通サービスを導入します。

基本方針3 持続可能な財政運営

- 神明の花火大会の自走化 → 令和8年4月の外部団体設置に向けて、引き続き関係機関と協議を行います。
- ふるさと納税の推進 → 首長によるトップセールスや県人会、紹介事業者等を通じて町への寄附の拡大を図ります。

基本方針4 行政サービスの質の向上

- 「記入不要窓口」の導入 → 令和7年7月からの一部窓口導入を効果・検証し、他の窓口への拡大を図ります。

【問い合わせ窓口】

市川三郷町 総務課 総務法制係
 電話 055-272-1102 FAX 055-272-2525
 メール ims1790@town.ichikawamisato.yamanashi.jp

計画については
 こちらから →

